

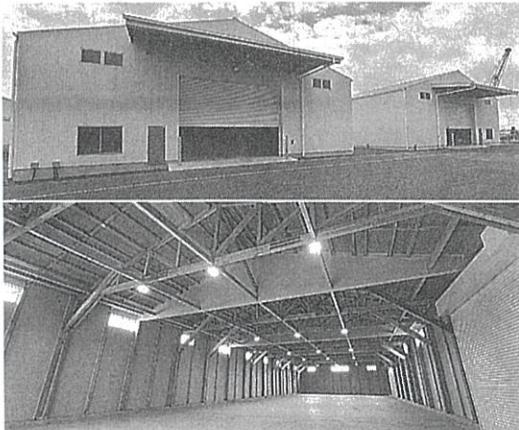
木材の「飛島倉庫」2棟が竣工

木材調達から施工までをグループ企業が担う

材惣DMBホールディングス

材惣DMBホールディングス（名古屋市、鈴木龍一郎社長）は20日、愛知県海部郡飛島村に木造平屋建ての「飛島倉庫」2棟を竣工した。木材の調達とプレカットは材惣木材（同）、施工はサイソウハウス（名古屋市、伊藤卓哉社長）と、いずれもグループ企業が手掛けた。既に既存顧客への賃貸が決まっており、今後も需要増が見込まれる非住宅木造へのグループの対応力をアピールする役割も担う。また、同日と21日は関係者を招いて内覧会を開催した。

グループではこれまでに、オフィスをはじめグループ内外の非住宅を含む中大規模木造物を多数手掛けてきた。現在は鉄骨などに比べて木材は比較的安価で、償却期間が短い



庇は純木造で設計されている（上）
延べ床面積は各棟990m²（下）

現地には、無柱空間で延べ床面積990平
方㍍の木造倉庫（52・78㍍×18・2㍍、高さ約8㍍）2棟が並ぶ。

構造設計は、i—木構（愛知県岩倉市、伊藤方瑳）による倉庫や事務所へ
主にRウッドやカラ

（啓富社長）が手掛けた。

松の集成材を使用して
おり、構造部分の木材
使用量は2棟分で255
2立方㍍。倉庫として
の利便性を考慮して袖

壁は設けず、庇は純木
造で設計。構造は、合
板耐力壁と方柱付トラ
スで耐震性を確保して
いる。